

研究だより

入新井第五小学校
研究推進委員会
R5年11月1日(水)
第5号

今日的な課題プロジェクト

6年 学級活動「よよいよ学習習慣づくり」～自分の学習を見つめ直そう～

◎授業について



学習習慣を身に付けることで、日常生活の中に自然と勉強時間を組み込むことができます。また、習慣化されることにより、勉強を積み重ね、成果を得られるようになれば、それが自信へとつながります。なので、中学校での始まりを4か月後に控えたこの時期に、それぞれの学習習慣や勉強の仕方に目を向けさせることは、大変良いタイミングであると考えました。そこで、「よよいよ学習習慣づくり」を題材に、中学生になる自分の学習を、改めて見つめ直しました。まずは、事前にとっていたアンケート、「これまでの自身の学習を振り返り」についての結果を見て、現状をつかみまし

た。満足している子、最近伸び悩み中学への不安をもっている子など、それぞれが様々な思いをもっていることが分かりました。様々な思いがある中でも、「今の自分より少しでもレベルアップできるなら、その方法を知りたい」という前向きな思いは、ほぼ全員がもっていることも分かりました。そこで、子どもたちにとって身近な社会人である本校教員の中から、2名をゲストティーチャーとして選び、話を聞く機会を設けました。そこでは、授業中に工夫していたことや、趣味や遊びとのバランスなど、小学校時代の学び方の参考になる話を聞くことができました。話を聞いた後に学習方法や工夫は、どのようなものがあるかを班で考えました。「隙間時間を活用する」「自分の考えだけでなく、友達の意見や考えをメモするようにする」「スケジュールを立てて、やることをより明確にする」「間違えた問題を必ず解き直すようにする」といった具体的な意見が出ていました。最後は、ゲストティーチャーからの話も踏まえて、改めて今の自分の課題は何か、どのように学習の仕方を改善していけばよいのかについて、出し合った解決方法を参考にし、今の自分の学び方を改善するための具体的な目標や方法を決めました。

子どもたちはこの授業を通して、自分だけでは気付けなかった部分を、友達と話し合ったりゲストティーチャーから話を聞いたことで気付くことができただけでなく、中学校進学に向けて、また自分の夢の実現に向けて「頑張ってみようかな」と各々がめあてを立てて考えることができました。これから自分が立てためあてに向かって努力する子どもたちを価値付け、さらに中学校進学に向けて期待をもってほしいと思います。



☆指導・講評

○授業では、ゲストティーチャーとして、身近な校内の先生を出したことで興味を引くことができていた。子どもに、この後の活動にどう関係してくるかをしっかり考えさせることが大切である。

○自分の言葉で発表していたことがよかった。発表することによって、自分の見直しにもなり、友達も共感できる機会ともなる。学んだことを生かして記入し発表していた。

▲ゲストティーチャーをどのタイミングで出すかを考える。今回は「さぐる」で登場させたが、どこで出てきてもらうのがベストなのか、何を話してもらうかが大事である。

